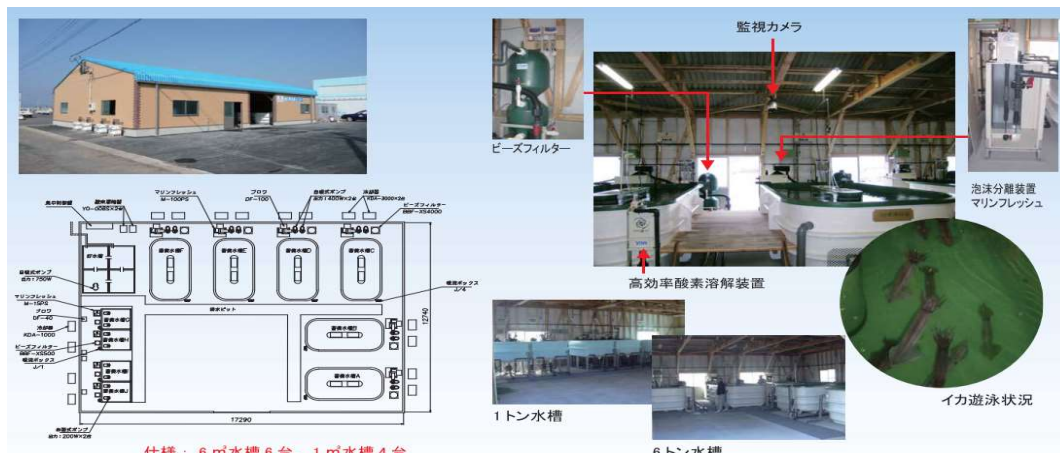


テーマ：酸素UFBによる活魚の蓄養へのファインバブル技術応用



仕様：6 m³水槽 6 台、1 m³水槽 4 台

【 社会的な課題 】

活魚需要が高まる中で、卸市場への流通にあたり安定した供給量と価格変動を少なくすることを目的に蓄養施設の必要性が高まっている。

しかし、一定期間活魚を安定的に保持することは難しく費用も高くなる傾向にあることから、改善の必要性がある。

【 取組み内容 】

農水省の補助事業にて各漁協（港）に活魚保管施設を設けて安定した流通への取り組みとする。専用施設の設計/施工及び設備計画は漁協が施主となりYBM社が一括請負にて対応している。各水槽では海水の水質維持管理を行う為に泡沫分離装置、生物ろ過装置、ファインバブル発生装置を活用している。

【 ファインバブルの作用・原理 】

溶存酸素濃度を過飽和に溶解させることができ、同時に酸素UFBを供給することができる。これにより、最適なDO維持とアンモニアや亜硝酸などの毒性のある物質をいち早く海水中より除去することができる。

【 使用機器 】

UFB発生装置はキャビテーション方式（非加圧）を選定している。一時貯留槽内で酸素ガスをUFB処理し、高濃度海水（200%以上）として維持管理する。システム構成は、酸素PSA,UFB発生装置、揚水ポンプ、泡沫浮上分離装置、制御機器などである。

【 各種効果 】

- 貧酸素の改善
- 生理活性の維持
- 付帯効果 活魚ロス率の改善（フードロス対策）

■企業名称 株式会社ワイビーエム FB事業開発部 <https://www.ybm.jp/>

■お問合せ先 担当者 宇川岳史 tukawa@ybm.jp